

International Week ランチタイム報告会を開催しました

平成 29 年度国際交流推進委員会による国際交流活動の一環として、「international Week: 春のランチタイム報告会」が 2 日間にわたって開催されました。

初日の 5 月 16 日には、本学地域看護学の助教の竹村和子先生により、「たくましく生きる人たちー日本在住ビルマ難民の今ー」というテーマで発表がありました。自国での紛争により日本で生活しているビルマ難民の現状についてのお話の中で、ビルマ難民がどのような思いで祖国を離れて生活をしているのか、またその中で生じている健康問題と、それでもたくましく生きる難民コミュニティの強さについて知る機会となりました。



2 日目の 5 月 17 日には、本学 4 回生の土肥早稀さんにより、「異文化を尊重した地域への入り方ーカンボジア・コンポントム州の村への JICA 研修体験を通じてー」というテーマで発表がありました。自身が夏休みを利用して行ったカンボジアへの研修の中で体験したことを、たくさんの写真を用いてお話頂きました。私たちとは異なる文化を持つコンポントム州の村人たちとの触れ合いによって気づいたこと、感じたことや、「手洗い」の大切さについて伝えるという活動を通じて学んだ、地域に入る上で大切なことについて発表頂きました。



日本に住む外国人登録者数が増え続けている現在、私たちが行う看護の対象は日本人だけではありません。他国の文化を知り様々な視点での看護を行うことが求められている中で国際看護について考える貴重な時間となりました。